

令和5年
火災救急救助年報



柳井地区広域消防組合

も く じ

火災の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第1表	火災発生状況（過去5年間）	2
第2表	市町別火災発生状況	4
第3表	月別火災発生状況	6
第4表	出火原因別火災発生状況	7
第5表	覚知状況	7
救急の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
救助の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
第6表	救急発生状況（過去10年間）	9
第7表	市町別救急発生状況	10
第8表	傷病程度別搬送人員	12
第9表	年齢区分別搬送人員	12
第10表	月別救急発生状況	13
第11表	医療機関別搬送人員	14
第12表	覚知状況	14
第13表	救助発生状況（過去5年間）	15
第14表	市町別救助発生状況	16

火災の概要

○火災発生件数の動向

令和5年の火災発生件数は41件で、令和4年と比較すると5件の減少となりました。市町別では、柳井市は19件、周防大島町は15件、上関町は1件、平生町は6件となりました。

火災種別では、建物火災は10件、車両火災は1件、その他火災は30件となっており、その他火災が全体の約73%を占めています。

○死傷者の動向

火災による死者は1人、負傷者は2人発生し、令和4年と比較すると死者は2人減少、負傷者は8人減少となりました。

○損害額、焼損面積の動向

損害額と焼損面積は、令和4年と比較すると損害額、焼損面積とも減少していますが、損害額は過去10年間で比較すると、4番目に高い数値となっています。

○出火原因の動向

出火原因はたき火によるものが最も多く26件となっており、全体の約63%を占めています。その他は、たばこが2件、石油ファンヒーター、漏電、線香、ライター、過電流、風呂かまどの火、火の着いたゴミ、絶縁劣化による発熱がそれぞれ1件となっています。

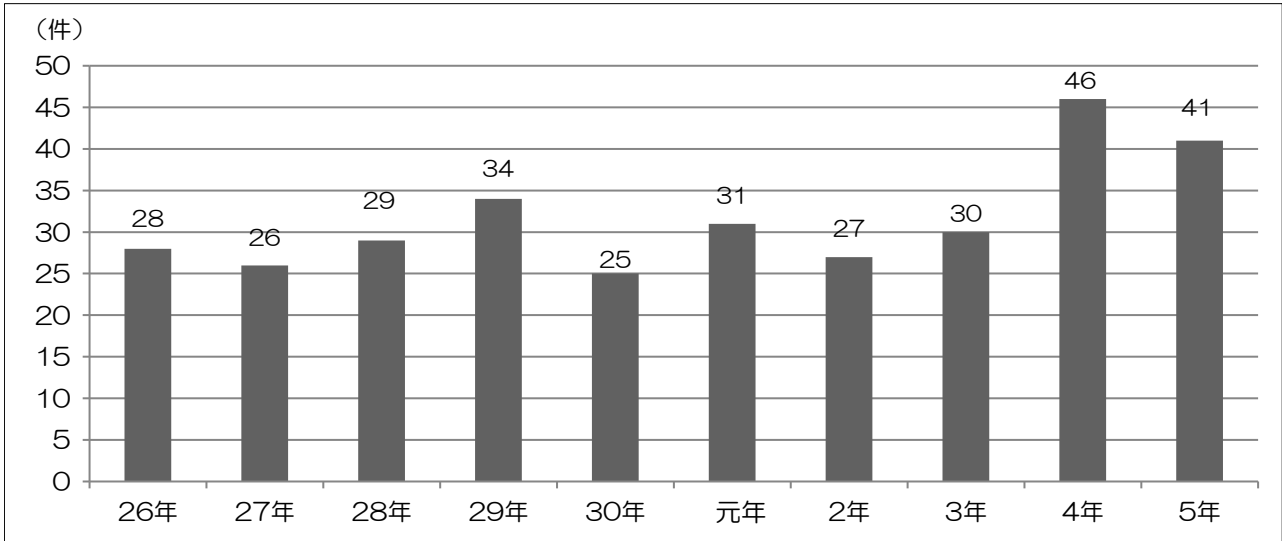
○住宅用火災警報器の設置及び維持管理

全国的には、住宅火災による死者の約7割が高齢者であり、死亡の原因は「逃げ遅れ」によるものが大部分を占めています。この「逃げ遅れ」による死者の発生防止に極めて有効なのが、住宅用火災警報器を寝室等の適正箇所に設置することです。当消防組合では、住宅用火災警報器の適正箇所への設置促進とともに、住宅用火災警報器の維持管理や経年劣化した本体の交換について普及啓発を行い、住宅火災による死者の低減を目指します。

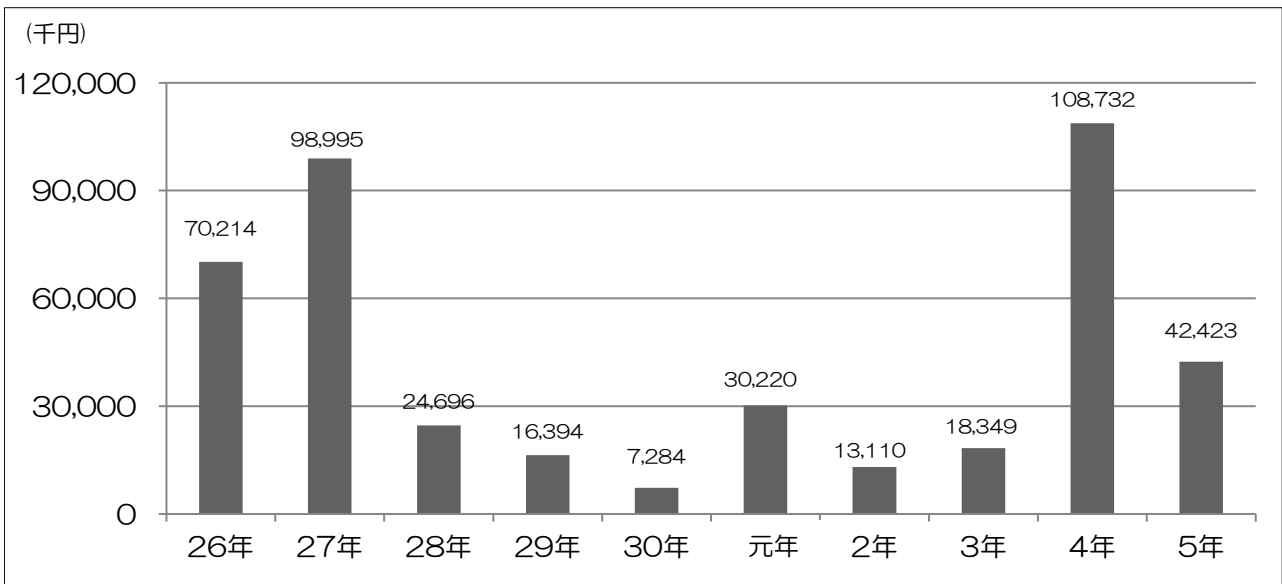
第1表 火災発生状況（過去5年間）

区 分	単位	元年	2年	3年	4年	5年
出 火 件 数	件	31	27	30	46	41
建 物 火 災	//	15	11	13	20	10
全焼棟数	棟	7	3	5	11	4
半焼棟数	//	1	1	2	1	
部分焼棟数	//	15	5	3	12	4
ぼや棟数	//	8	3	5	4	8
林 野 火 災	件	3			2	
車 両 火 災	//		1	3	2	1
船 舶 火 災	//	1		1		
そ の 他 火 災	//	12	15	13	22	30
損 害 額	千円	30,220	13,110	18,349	108,732	42,423
建物火災	//	28,787	5,774	17,798	107,753	42,338
林野火災	//					
車両火災	//		180	154	974	35
船舶火災	//	1,402		282		
その他火災	//	31	7,156	115	5	50
焼損面積						
建 物	m ²	752	310	610	1,770	1,018
林 野	a	14			13	
り 災						
世 帯 数	世帯	2	5	11	19	16
人 員	人	2	12	16	44	30
人的被害						
死 者	//	2	1	2	3	1
負 傷 者	//	4	1	3	10	2
火災1件当たり損害額	千円	975	486	612	2,364	1,035
建物火災1件当たり焼損面積	m ²	50	28	47	89	102
住民1人当たり損害額	円	252	214	306	1,835	738
人口1万人当たり出火件数	件	5.0	4.4	5.0	7.8	7.1

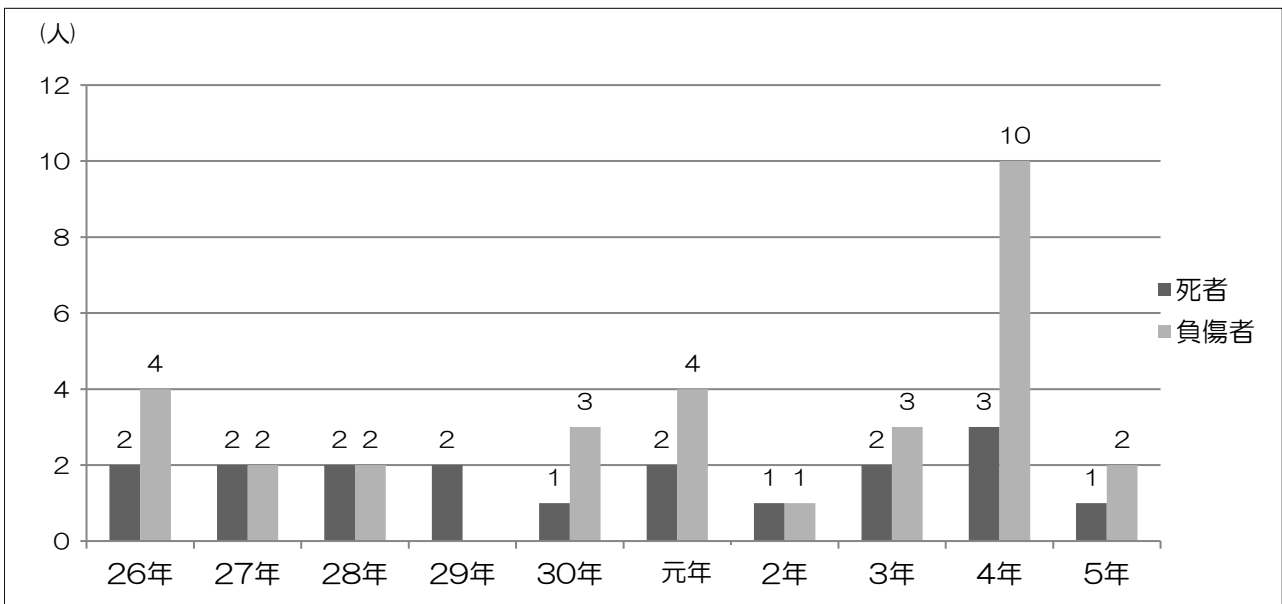
火災発生状況の推移



火災による損害額の推移



火災による死傷者の状況

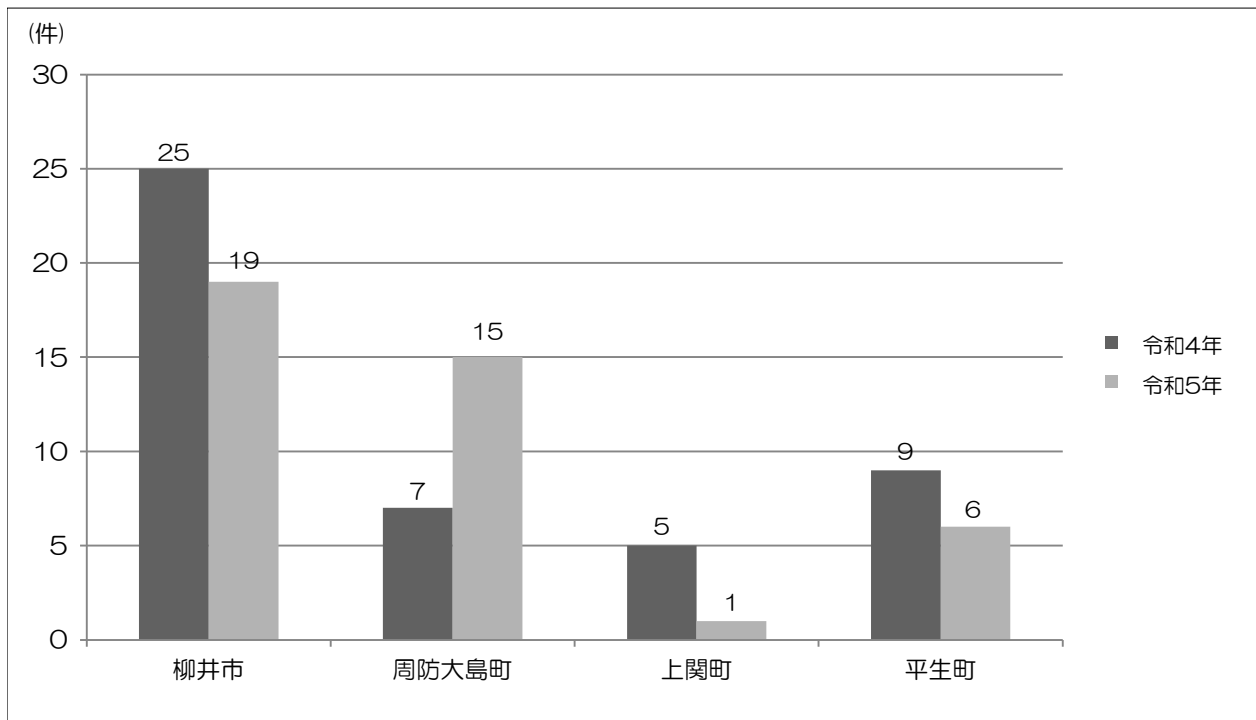


第2表 市町別火災発生状況

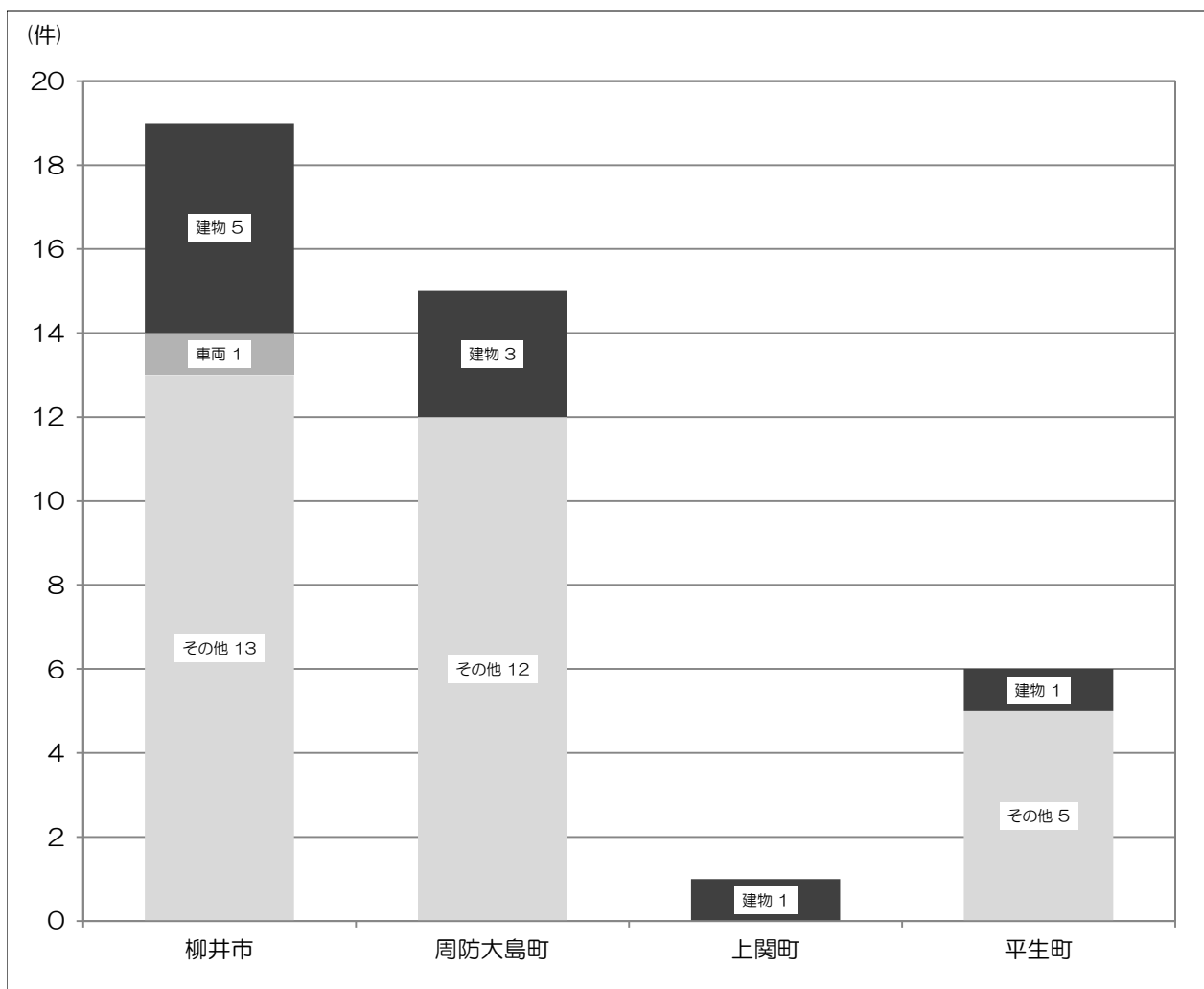
* ()は令和4年の数字 △印は減数

	火災種別(件)						前年との比較	焼損面積		死傷者数		損害額(千円)					
	建物	林野	車両	船舶	その他	計		建物(m ²)	林野(a)	負傷者(人)	死者(人)	建物	林野	車両	船舶	その他	計
柳井市	5 (12)		1 (1)		13 (12)	19 (25)	△6	226 (1,122)		2 (4)	1 (2)	12,114 (53,230)		35 (232)		46 (5)	12,195 (53,467)
周防大島町	3 (5)				12 (2)	15 (7)	8	488 (274)				9,708 (11,409)				4 (11,409)	9,712 (11,409)
(久賀地区)	1 (1)				1	2 (1)	1	412 (8)				9,472 (12)					9,472 (12)
(大島地区)					8 (2)	8 (2)	6									4	4
(東和地区)	1 (2)				2	3 (2)	1	(192)		(1)		5 (9,850)					5 (9,850)
(橋地区)	1 (2)				1	2 (2)		76 (74)				231 (1,547)					231 (1,547)
上関町	1 (2)	(1)	(1)		(1)	1 (5)	△4	244 (261)	(2)	(2)		6,963 (29,339)		(742)			6,963 (30,081)
平生町	1 (1)	(1)			5 (7)	6 (9)	△3	60 (113)	(11)	(3)		13,553 (13,775)					13,553 (13,775)
計	10 (20)	(2)	1 (2)		30 (22)	41 (46)	△5	1,018 (1,770)	(13)	2 (10)	1 (3)	42,338 (107,753)		35 (974)		50 (5)	42,423 (108,732)

市町別火災発生状況

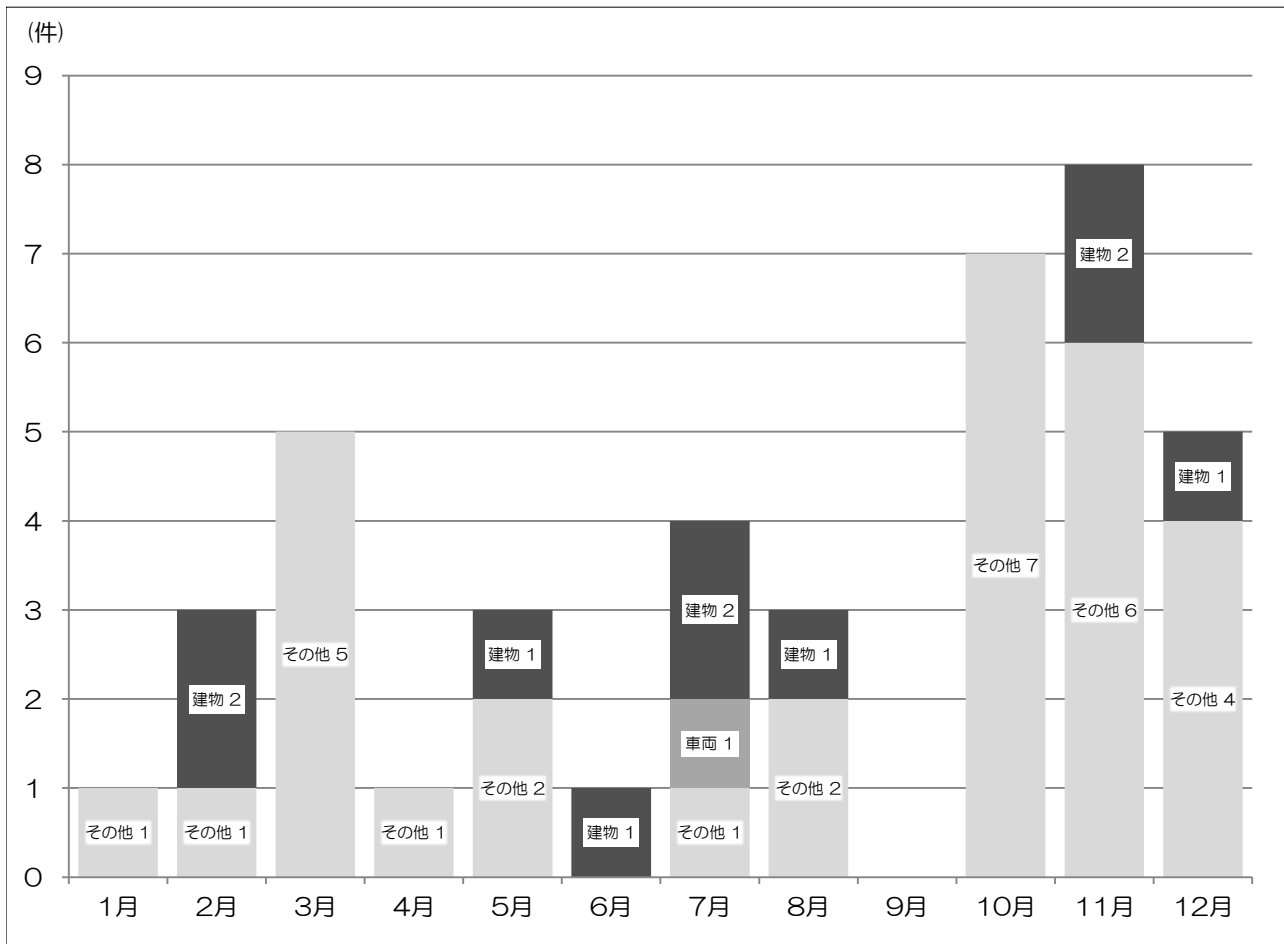


市町別火災種別発生状況



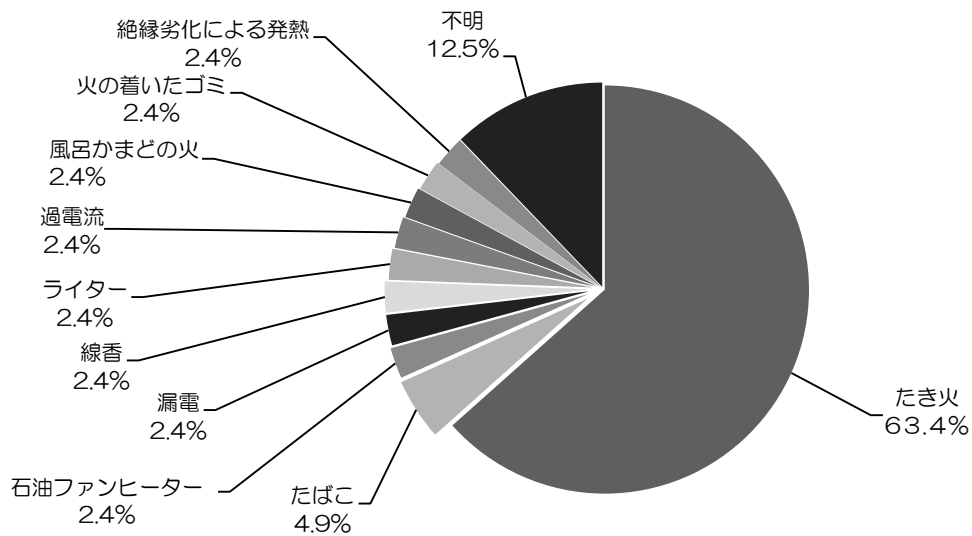
第3表 月別火災発生状況

市 町	種別	月												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
柳 井 市	建物火災					1		1	1			2		5
	林野火災													
	車両火災							1						1
	船舶火災													
	その他火災	1		3	1			1	1		3	2	1	13
周防大島町	建物火災		1					1					1	3
	林野火災													
	車両火災													
	船舶火災													
	その他火災		1	1		1			1		3	3	2	12
上 関 町	建物火災		1											1
	林野火災													
	車両火災													
	船舶火災													
	その他火災													
平 生 町	建物火災						1							1
	林野火災													
	車両火災													
	船舶火災													
	その他火災			1		1					1	1	1	5
計	建物火災		2			1	1	2	1			2	1	10
	林野火災													
	車両火災							1						1
	船舶火災													
	その他火災	1	1	5	1	2		1	2		7	6	4	30



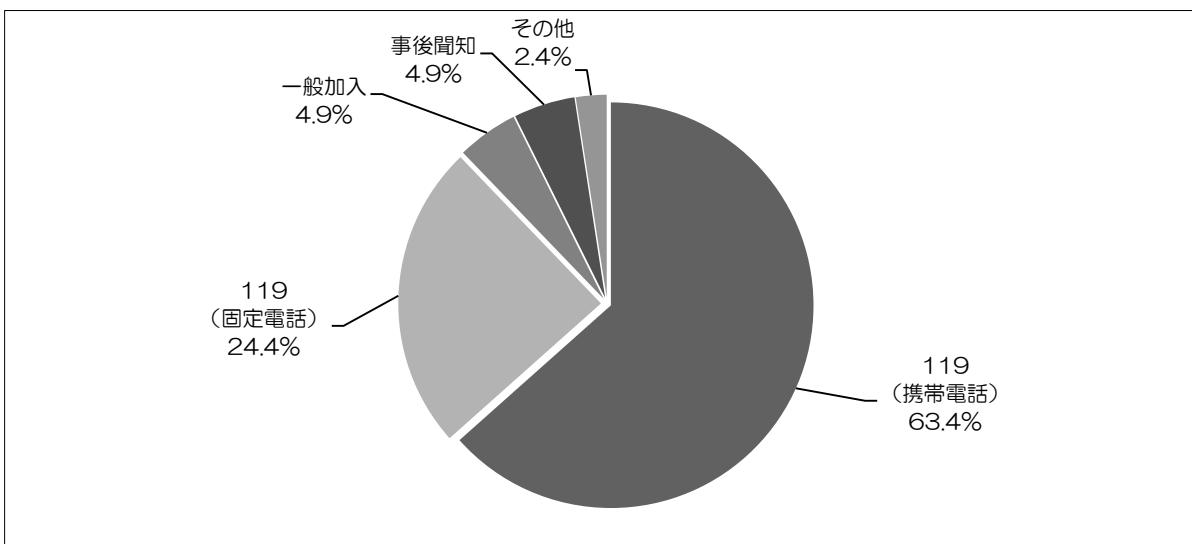
第4表 出火原因別火災発生状況

出火原因	火災種別	建 物	林 野	車 両	その他	合 計
た き 火					26	26
た ば こ		1			1	2
石油ファンヒーター		1				1
漏 電		1				1
線 香		1				1
ラ イ タ ー		1				1
過 電 流		1				1
風呂かまどの火		1				1
火の着いたゴミ					1	1
絶縁劣化による発熱					1	1
不 明		3		1	1	5
計		10		1	30	41



第5表 覚知状況

件数	119 (携帯電話)	119 (固定電話)	一般加入	事後聞知	警 察	その他	合 計
	26	10	2	2		1	41



救急の概要

○救急発生件数の動向

令和5年の救急発生件数は4,029件で、令和4年と比較すると204件の増加となり、統計開始以来初めて4,000件を超え過去最多となりました。

搬送人員は3,496人で76人増加し、こちらも過去最多となりました。

しかし、発生件数204件の増加に対して搬送人員は76人の増加にとどまっています。これは、搬送辞退などの不搬送事案の増加が影響しているもので、救急車の不適正利用が課題といえます。

○事故種別の動向

事故種別の件数は、急病が最も多く、次いで一般負傷となっています。急病は令和4年と比較すると130件増加、一般負傷は34件増加となり、それぞれを合わせると全体の約77%となっています。

○搬送人員の約3割は軽症

傷病程度別の割合は、軽症が全体の約28%を占めており、救急車の適正利用について地域住民への広報活動を行っています。

○高齢者搬送件数

年齢区分では、65歳以上の高齢者の搬送が約78%（令和4年約79%）となっており、高い割合を占めています。

○OPA出動 *消防ポンプ車（Pumper）と救急車（Ambulance）

柳井地区広域消防組合において、救急車が通報から現場に到着するまでの平均時間は10分41秒です。救急出動の増加や搬送困難症例による救急車の稼働時間延長、入電時の聴取項目の増加などにより、救急車が到着するまでの時間が延長しています。

救急要請時に近くの救急車が出動していた場合などで、生命に危険を伴う通報内容、または救急隊だけでは搬送困難が予想される場合などは、近くの署所から消防車が出動し、救急隊到着までの応急処置や救急隊の活動支援を行うOPA出動をしています。

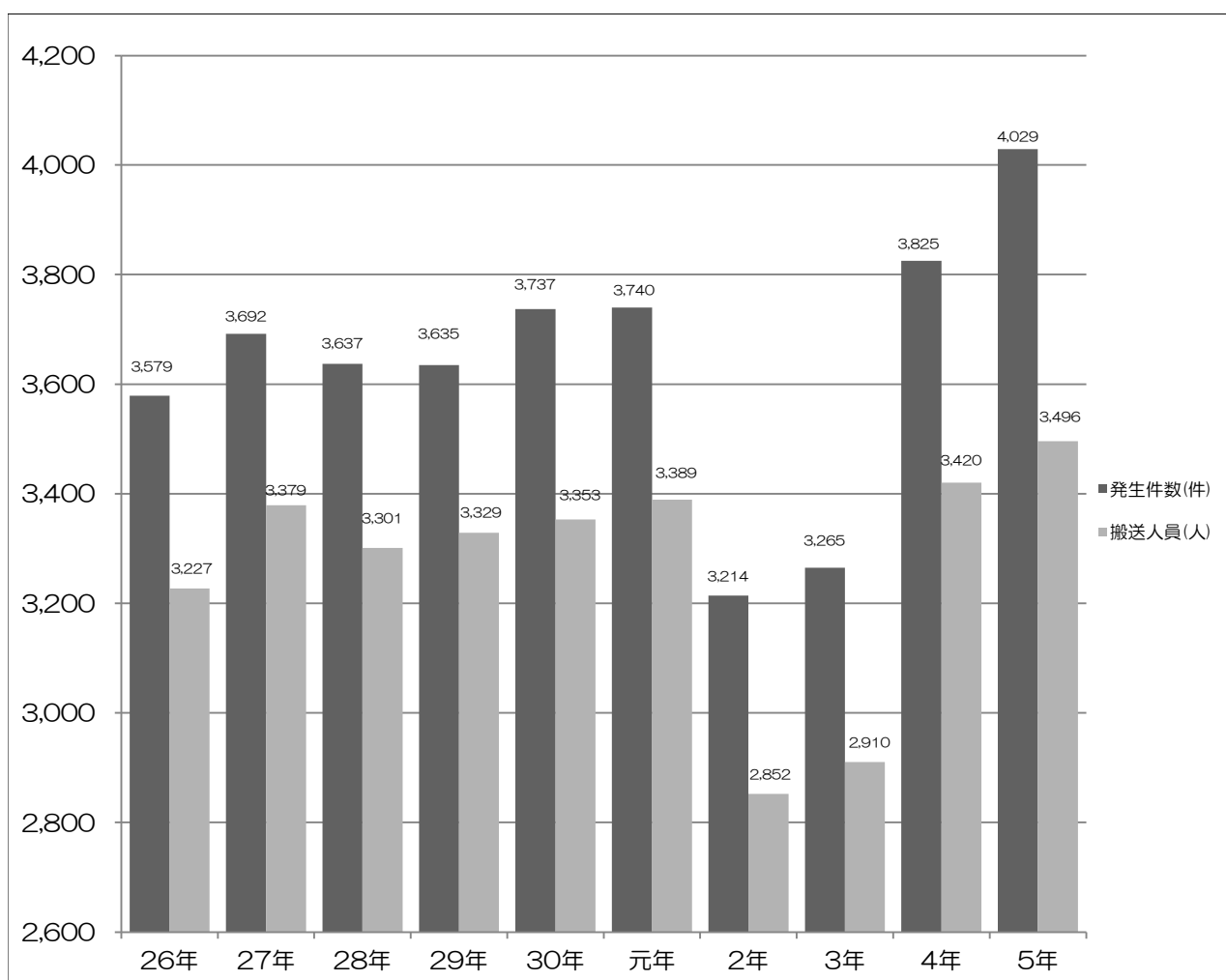
救助の概要

○救助発生件数の動向

令和5年の救助発生件数は38件で、令和4年と比較すると3件の増加となりました。発生件数が最も多い事故種別は交通事故で22件あり、全体の約57%を占めています。活動件数は4件増加の21件、救助人員は7人増加の25人となっています。

第6表 救急発生状況（過去10年間）

	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
発生件数 (件)	3,579	3,692	3,637	3,635	3,737	3,740	3,214	3,265	3,825	4,029
搬送人員 (人)	3,227	3,379	3,301	3,329	3,353	3,389	2,852	2,910	3,420	3,496



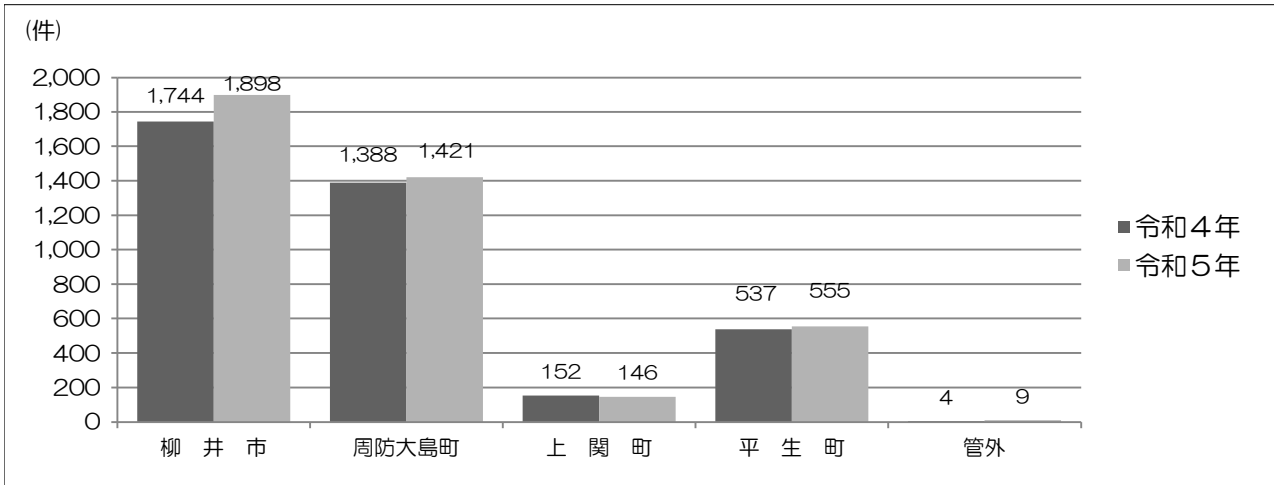
第7表 市町別救急発生状況

* ()は令和4年の数字 △印は減数

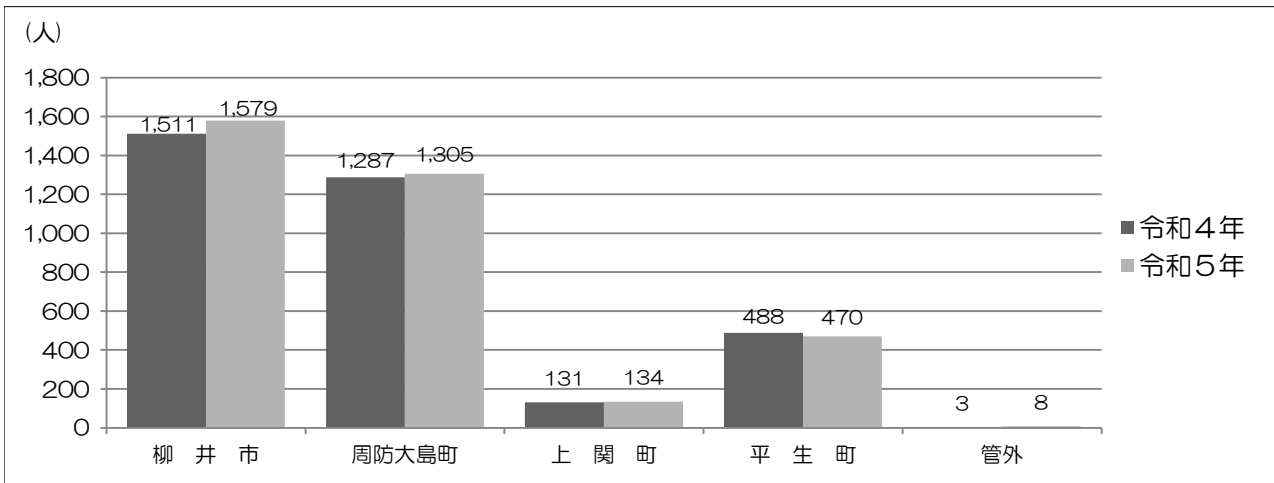
	発生件数 (件)	搬送件数 (件)	搬送人員 (人)	事 故 種 別 (件)											前年比 (件)
				火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他	
柳 井 市	1,898 (1,744)	1,571 (1,505)	1,579 (1,511)	9 (12)		1	121 (108)	21 (15)	6 (13)	293 (273)	3 (7)	15 (6)	1,201 (1,080)	228 (230)	154
周防大島町	1,421 (1,388)	1,301 (1,283)	1,305 (1,287)	3 (2)		5	43 (40)	5 (12)	9 (8)	225 (225)		7 (5)	819 (814)	305 (277)	33
(久賀地区)	220 (273)	192 (239)	192 (240)	1 (1)			9 (17)	1 (4)	2 (5)	43 (40)			146 (186)	18 (18)	△53
(大島地区)	416 (410)	383 (389)	384 (390)	1			13 (7)	3 (4)	3	73 (81)		4 (3)	236 (223)	83 (92)	6
(東和地区)	306 (306)	282 (281)	283 (281)	1 (1)		3	8 (4)	1 (2)	2 (1)	51 (50)		2 (2)	188 (191)	52 (53)	
(橘地区)	479 (399)	444 (374)	446 (376)			2	13 (12)		2 (2)	58 (54)		3	249 (214)	152 (114)	80
上 関 町	146 (152)	133 (130)	134 (131)	1 (1)		1	4 (2)			29 (29)		1 (2)	101 (109)	9 (4)	△6
平 生 町	555 (537)	470 (486)	470 (488)	3 (3)			34 (26)	3 (2)		90 (79)	1	4 (4)	367 (354)	53 (69)	18
管 外	9 (4)	8 (3)	8 (3)				1			3	1		3 (4)	1	
計	4,029 (3,825)	3,483 (3,407)	3,496 (3,420)	16 (18)		7 (6)	203 (176)	29 (32)	15 (21)	640 (606)	5 (8)	27 (17)	2,491 (2,361)	596 (580)	204

※事故種別「その他」596件のうち、転院搬送は575件。

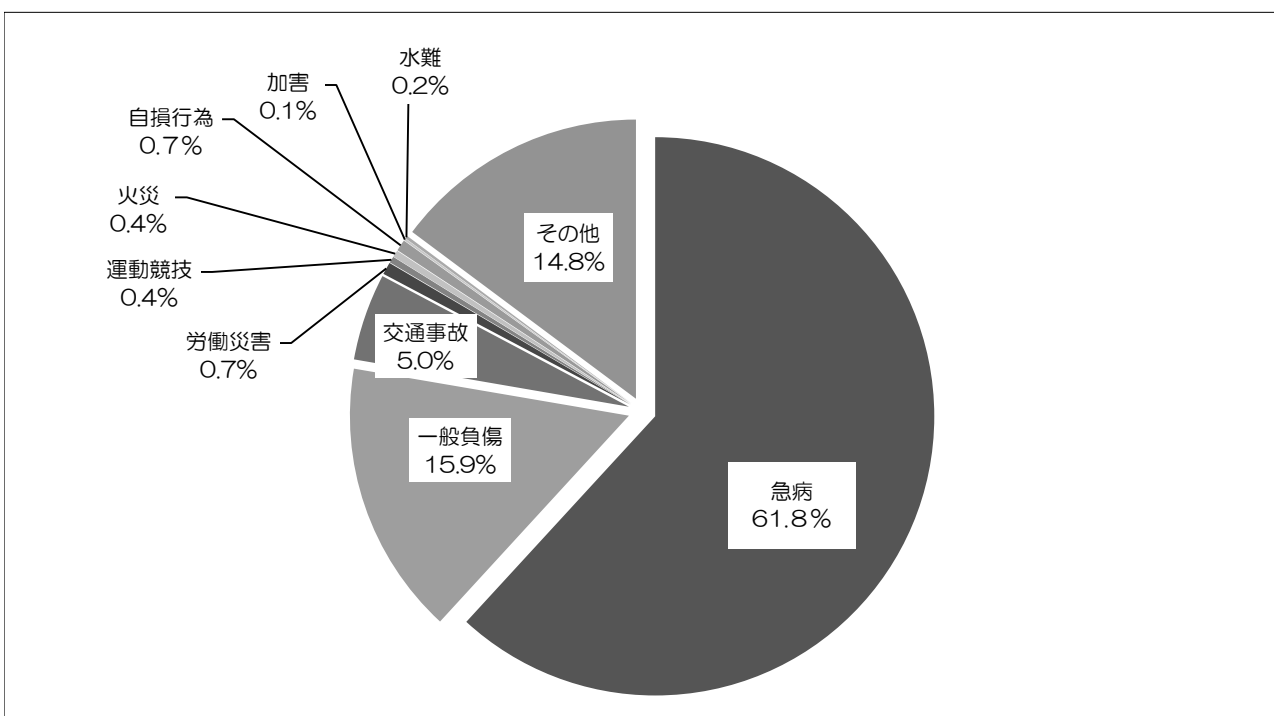
市町別救急発生件数



市町別救急搬送人員



事故種別救急発生状況

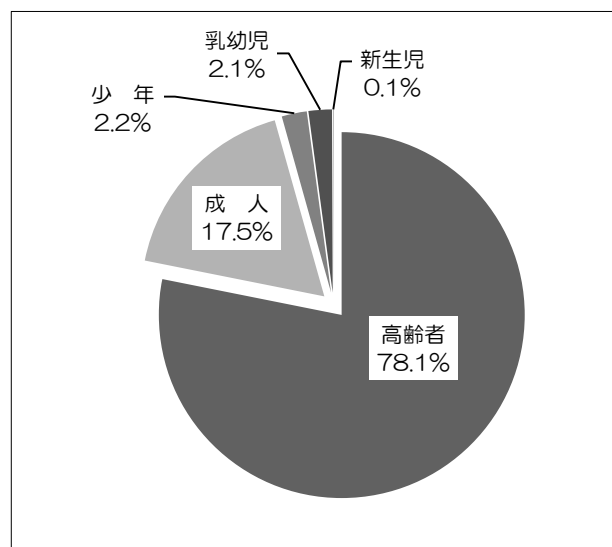
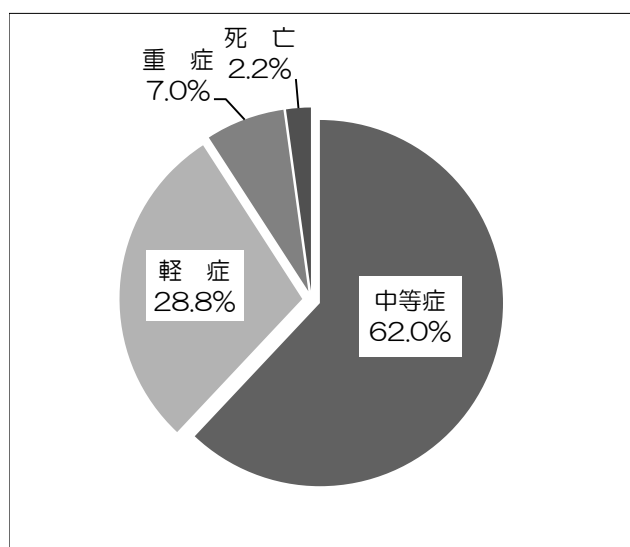


第8表 傷病程度別搬送人員

事故種別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡			2	2			3		2	66	1	76
重 症			1	5	2		19		1	129	87	244
中 等 症	1		2	69	17	9	322	1	6	1,277	464	2,168
軽 症	1			103	10	6	228	3	4	633	20	1,008
そ の 他												
計	2		5	179	29	15	572	4	13	2,105	572	3,496

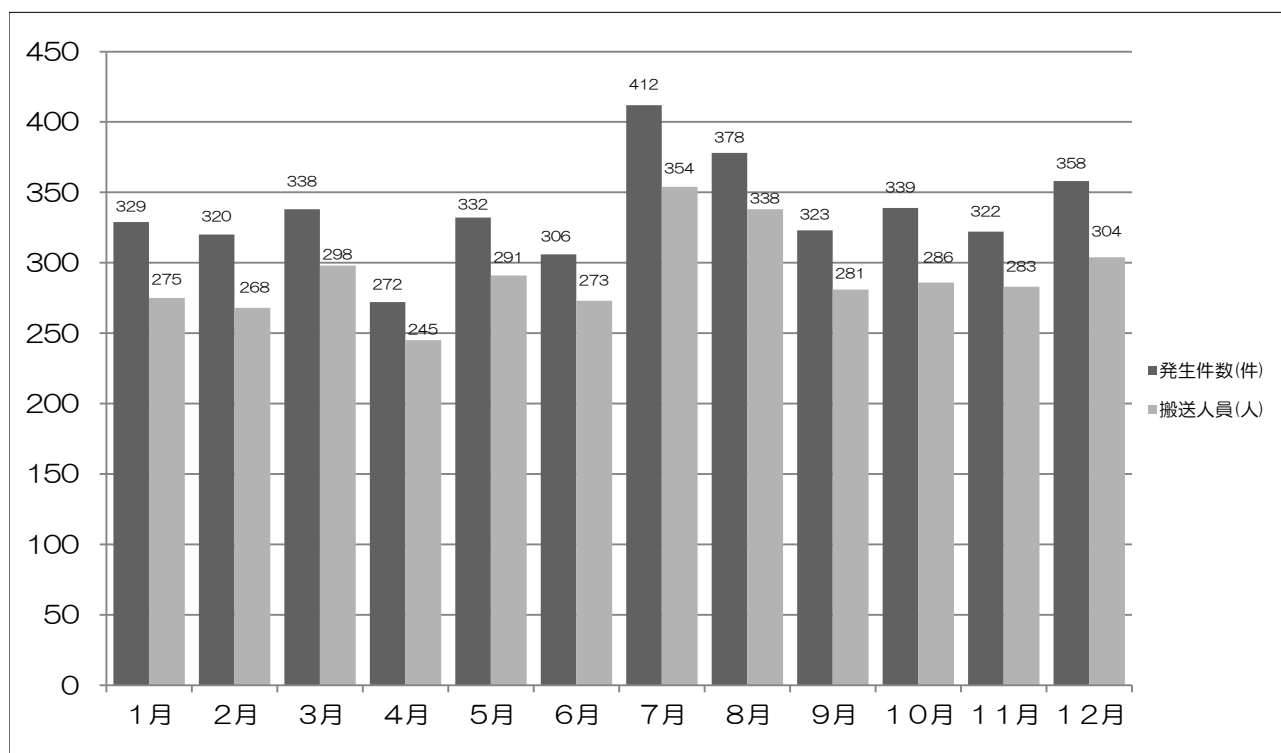
第9表 年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢層	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児 (生後28日後まで)										2		2
乳 幼 児 (生後29日～6歳)				1			15			46	10	72
少 年 (7～17歳)				12		11	10			35	10	78
成 人 (18～64歳)			2	81	21	4	56	3	10	347	88	612
高 齢 者 (65歳以上)	2		3	85	8		491	1	3	1,675	464	2,732
計	2		5	179	29	15	572	4	13	2,105	572	3,496



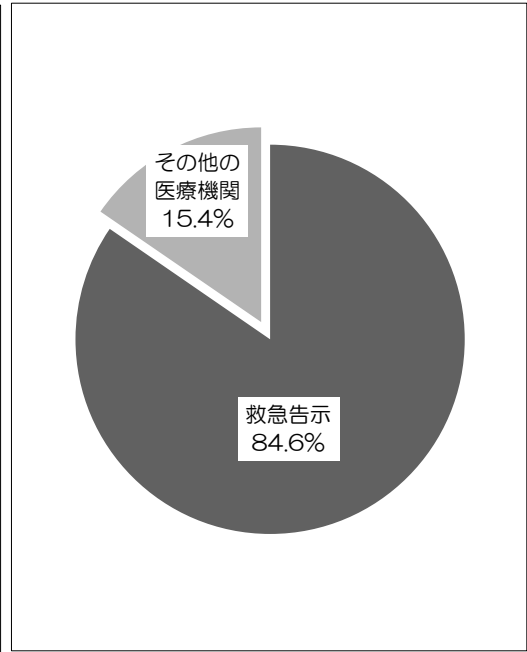
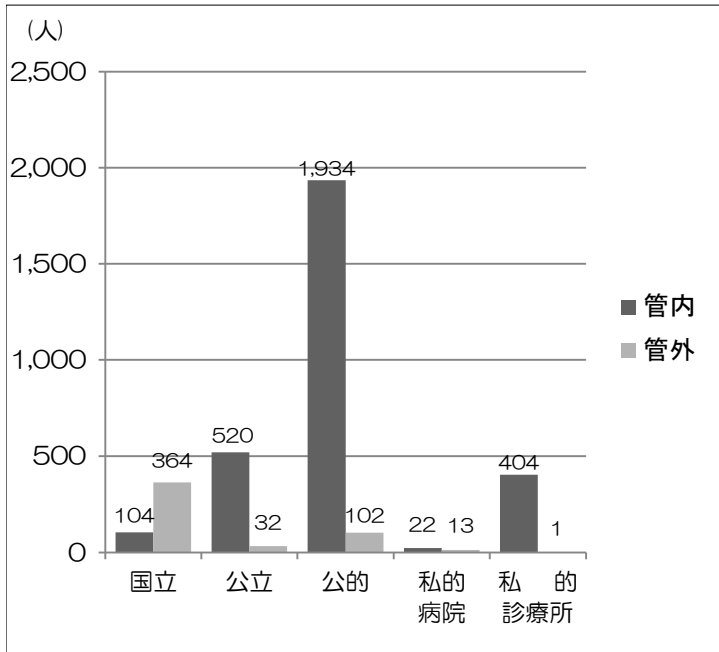
第10表 月別救急発生状況

月	事故種別	火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	そ	計
		災	災害	難	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病	他	
1月	発生件数				22	1		44	1	1	217	43	329
	搬送人員				21	1		36	1	1	174	41	275
2月	発生件数	2		1	19	4		50		3	182	59	320
	搬送人員				15	4		41			150	58	268
3月	発生件数	2			9	1	1	55			220	50	338
	搬送人員				9	1	1	49			189	49	298
4月	発生件数	1		3	12	2	4	52	2		159	37	272
	搬送人員			3	10	2	4	48	2		139	37	245
5月	発生件数				12	2		49	1	6	217	45	332
	搬送人員				10	2		45	1	4	185	44	291
6月	発生件数	1			15	2	1	50		2	182	53	306
	搬送人員				13	2	1	48			159	50	273
7月	発生件数	2		1	12	8		57	1	6	270	55	412
	搬送人員				11	8		51		4	227	53	354
8月	発生件数	1		1	23	5	3	50		2	242	51	378
	搬送人員			1	23	5	3	45		2	211	48	338
9月	発生件数				19	1	4	40		2	207	50	323
	搬送人員				19	1	4	36			172	49	281
10月	発生件数				16	1	2	68		1	201	50	339
	搬送人員				9	1	2	58			173	43	286
11月	発生件数	4		1	21			54		3	187	52	322
	搬送人員	2		1	19			49		2	159	51	283
12月	発生件数	3			23	2		71		1	207	51	358
	搬送人員				20	2		66			167	49	304
計	発生件数	16		7	203	29	15	640	5	27	2,491	596	4,029
	搬送人員	2		5	179	29	15	572	4	13	2,105	572	3,496



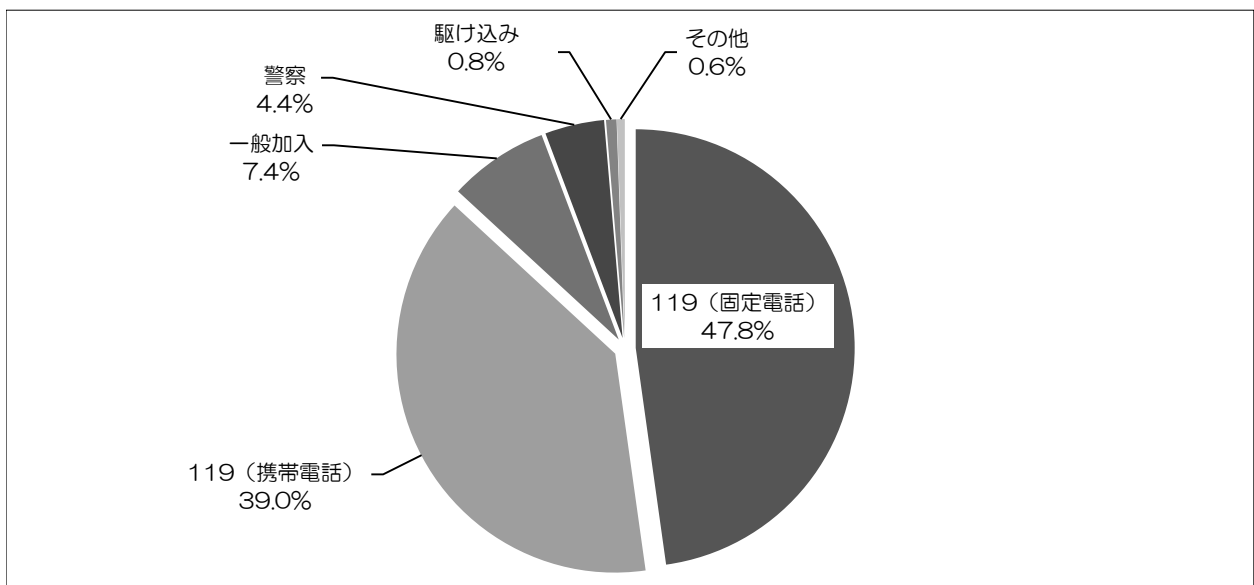
第11表 医療機関別搬送人員

告示別	医療機関	国立	公立	公的	私 的		その他	計
					病 院	診 療 所		
救急告示	管内		520	1,934				2,454
	管外	364	31	102	6			503
その他	管内	104			22	404		530
	管外		1		7	1		9
計	管内	104	520	1,934	22	404		2,984
	管外	364	32	102	13	1		512
合 計		468	552	2,036	35	405		3,496



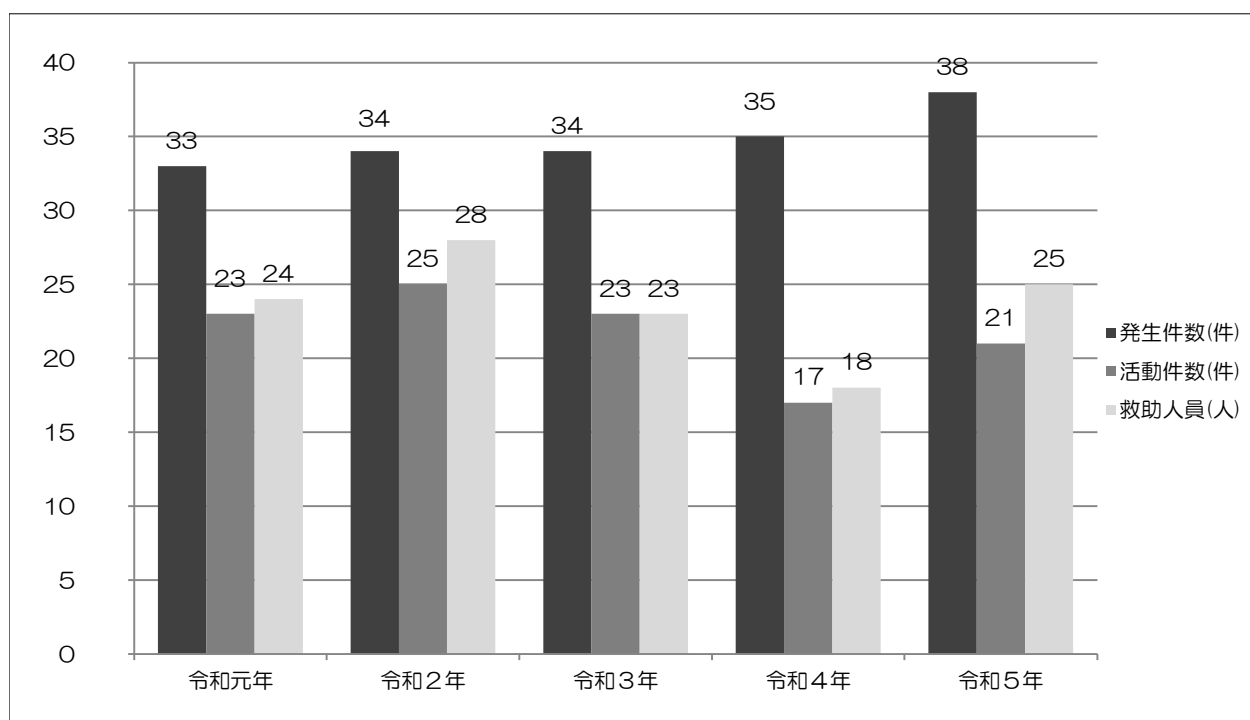
第12表 覚知状況

	119 (固定電話)	119 (携帯電話)	一般加入	警察	駆け込み	その他	合計
件 数	1,925	1,575	298	177	31	23	4,029



第13表 救助発生状況（過去5年間）

		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
火 災	出場件数	2	1	2	2	
	活動件数	2	1	2	2	
	救助人員	2	1	2	2	
交 通	出場件数	11	16	16	19	22
	活動件数	9	10	10	6	10
	救助人員	10	11	10	7	11
水 難 事 故	出場件数	3	6	3	4	4
	活動件数	3	4	2	3	3
	救助人員	3	6	2	3	3
自然災害風水害等	出場件数					
	活動件数					
	救助人員					
機械による事故	出場件数	3	2		2	
	活動件数	2	2		2	
	救助人員	2	2		2	
建物による事故	出場件数	4	3	2	4	4
	活動件数	3	3	1	1	3
	救助人員	3	3	1	1	5
ガス等による事故	出場件数					
	活動件数					
	救助人員					
爆 発 事 故	出場件数					
	活動件数					
	救助人員					
そ の 他	出場件数	10	6	11	4	8
	活動件数	4	5	8	3	5
	救助人員	4	5	8	3	6
計	出場件数	33	34	34	35	38
	活動件数	23	25	23	17	21
	救助人員	24	28	23	18	25



第14表 市町別救助発生状況

* ()は令和4年の数字 △印は減数

	事 故 種 別 (件)									発 生 件 数	前 年 と の 比 較	活 動 件 数	救 助 人 員
	火 災	交 通	水 難 事 故	自 然 災 害 風 水 害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ ス 等 に よ る 事 故	爆 発 事 故	そ の 他				
柳 井 市	(1)	11 (12)	1 (1)		(2)	4 (3)			4 (1)	20 (20)		11 (10)	13 (11)
周防大島町	(1)	6 (4)	2 (3)						3 (2)	11 (10)	1	7 (6)	8 (6)
(久賀地区)		(3)	(2)						(1)	(6)	△6	(3)	(3)
(大島地区)		2							1 (1)	3 (1)	2	1 (1)	1 (1)
(東和地区)		3	1 (1)						1	5 (1)	4	4 (1)	4 (1)
(橋地区)	(1)	1 (1)	1						1	3 (2)	1	2 (1)	3 (1)
上 関 町			1						1	2	2		
平 生 町		5 (3)				(1)			(1)	5 (5)		3 (1)	4 (1)
管 外													
計	(2)	22 (19)	4 (4)		(2)	4 (4)			8 (4)	38 (35)	3	21 (17)	25 (18)



ご質問、ご相談は、お気軽に最寄りの各課署所へご連絡下さい。

課 署 所	T E L	F A X
消 防 本 部	0820-22-0040	0820-22-7847
総 務 課	0820-23-7772	0820-23-4503
警防救急課	0820-23-7773	0820-22-7847
予 防 課	0820-23-7774	0820-23-4503
柳井消防署	0820-23-7775	0820-23-4503
南出張所	0820-62-0119	0820-62-0375
東出張所	0820-45-2911	0820-45-2917
西部出張所	0820-72-0119	0820-72-0128
中部出張所	0820-77-0119	0820-77-0140
東部出張所	0820-75-0119	0820-75-0151

柳井地区広域消防組合

令和5年度全国統一防火標語

火を消して
不安を消して
つなぐ未来